

# IV 良質米生産のための技術対策

## 1. 品種別栽培暦

### 平成 28 年 JA いわて中央特別栽培米「ひとめぼれ・あきたこまち」栽培こよみ

月	3月	4月				5月			6月			7月			8月			9月			10月	
旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	

播種・出芽期
移植期
分けつ期
幼穂形成期
減数分裂期
出穂期
成熟期

○ ひとめぼれ・あきたこまちな特性と特徴

	ひとめぼれ	あきたこまち
耐倒伏性	やや弱	中
障害型耐冷性	極強	中
いもち病抵抗性 (葉)	やや弱	やや弱
(穂)	中	やや弱
草型	偏穂数	偏穂数
穂発芽性	難	難
品質	上の中	上の中
食味	上の中	上の中

最高分けつ期茎数 ひとめぼれ 790本/m<sup>2</sup>  
あきたこまち 670本/m<sup>2</sup>

茎数の推移

期待生育目標

	ひとめぼれ	あきたこまち
出穂期	8月12日頃	8月7日頃
成熟期	10月1日頃	9月25日頃
稈長 (cm)	78～81cm	67～73cm
穂長 (cm)	18cm 前後	18cm 前後
穂数(本/m <sup>2</sup> )	480～520	460～500
玄米収量(kg/10a)	540	540～600
玄米千粒重 (g)	22～23	21～22

作業防除体系

播種量 中苗  
100～120g/箱(乾籾)  
2.5葉以上の健苗

栽植密度  
60株/坪以下  
3～4本/株植え  
取り置き苗の早期処分

低温時: 深水管理

高温時: 間断灌水

刈り取り適期  
黄化割合80%  
積算気温 ひとめ 900～1050℃  
こまち 950～1100℃

浸種 → 催芽・播種 → 耕起・代かき → 移植 → 雑草防除 → 中干し → 追肥 → カメムシ防除 → 落水 → 収穫乾燥調製

消毒済種子 (タフブロックSP)      初期除草剤 ウィナー      中期除草剤 バサグラン      カメムシ防除剤 スタークル

葉いもち・初期病害虫予防 育苗箱施用 Dr.オリゼフェルテラ箱粒剤      穂いもち防除 予防剤 フジワン

ふるい目は1.9mm使用

施肥と病害虫防除ポイント

○ 土壌改良資材の例

完熟堆肥	1,000kg/10a
鶏ちゃんパワー	秋30～45kg/10a
元樹	春100kg/10a
又はケイカル	春・秋100～140kg/10aなど

○ 全層施肥の例

基肥 ○とくさい基肥 40～60kg/10a

追肥 ○とくさい追肥 15kg/10a (幼穂形成期重点追肥)

※特別栽培の施肥基準は栽培記録簿記入のAタイプからFタイプまであります。4ページを見て確認しましょう

○ いもち防除の例

育苗箱施用 Dr.オリゼフェルテラ箱粒剤 → 取り置き苗の早期処分 5月末まで → 穂いもち予防剤 フジワン 7月中～下旬

○ カメムシ防除の例

畦畔管理 → 出穂2週間前の草刈り 7月下旬 → 薬剤防除 スタークル (出穂期に散布) → イネ科雑草の出穂が多い場合は畦畔草刈りを実施